

35歳 無所属 戸田市議会議員 本人 すがわら文仁

ふみ ひと

レポート第37号 戸田市美女木 8-21-6 TEL・FAX 048-422-1673
メール sawayaka@sugawarafumihito.com
URL sugawarafumihito.com
ご意見、ご要望など、ございましたらお気軽にご連絡下さい！



プロフィール すがわら文仁

●昭和50年7月30日 生まれA型(35歳) 戸田市立美谷本小学校、美笹中学校、伊奈学園総合高校、日本体育大学卒業、明治大学大学院修了(公共政策学) ●平成17年市議会議員選挙・1993票(2位)、平成21年市議会議員選挙・4143票(市政歴代で1位に)、市民生活常任委員会 無所属一人会派で奮闘中。●戸田市体操協会会長、埼玉坂本龍馬会幹事、若手政治家養成塾初代事務局長、上田きよし政治塾運営委員、地方自治学会会員、日本自治体危機管理学会会員 ●資格は保健・体育の教員免許。趣味は読書、史跡めぐり、B級グルメ探索。特技はバク転、のび太並みの早寝。好きな言葉は米沢藩主、上杉鷹山公「なせばなる、なさねばならぬ、なにごとく」 夢は努力した人が報われる社会の実現。 ●発行者 菅原文仁 戸田市美女木8-21-6 Tel/Fax048-422-1673

第4回定例会 11月29日～12月15日

一般質問の要旨(※詳しくは議会ホームページで)

12月8日午後4時～すがわらの一般質問です！

いじめ、不登校対策

いじめ、不登校の対策は、各関係者の不断の努力によってのみ改善するものであり、いささかも手を緩めてはならない。議会も本年2月議会に「ネットいじめ根絶に関する決議」を行い、意見書を提出した。これまでの取り組みと対策を伺う。

①決議、意見書を受けての市のいじめ対策について。

②市内小中学校の不登校児童生徒の数と出現率の推移、要因、指導、今後の取り組みについて。

河川敷の利用と河川管理

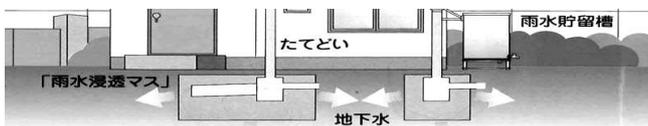
河川は、公共用物であり、洪水の防止、環境の保全その他の公共の福祉に資する観点により管理されなければならないが、近年はその支障のない範囲で利活用、管理が促されている。

①規制緩和により、河川敷地占用許可準則が改定される予定だ。荒川、笹目川、菖蒲川、上戸田川、さくら川の河川敷を利活用できないか。

②市は上戸田川、さくら川の河川管理者だが、河川管理のルールについては定めていない。今後の取り組みについて伺う。

市民の治水

内水の氾濫を防止するためには、雨水を様々な方法で治水し、流出抑制する必要がある。現在本市は貯留施設の助成を行っているが、雨水浸透ますやトレンチ、透水性のインターロッキングブロックなどの普及を行うなど、総合的対策を行えないか。



雨水浸透マス

フィルム・コミッション

シティセールスの観点から昨年3月議会の一般質問の場でフィルム・コミッションを提案したが、その後の取り組みはどうか。

規格外米(彩のかがやき)

今夏の異常高温により、県産ブランド米「彩のかがやき」を中心に規格外米が大量に発生し、甚大な被害が生じている。市としても何らかの支援を行うことはできないか。

自治体間の連携

分権による垂直調整とともに、重要になってくるのが自立した自治体同士の水平補完であり連携である。今後の様々な広域的行政課題に対応するためには、より積極的な連携が望まれる。現在における認識と対策を伺う。

議案質疑の要旨（※詳しくは議会ホームページで）

12月3日午前10時～すがわらの質疑です！

福祉保健センター新設について

(1)施設事業の「市民の健康づくり活動支援」とは、何を想定しているか。

(2)職員の配置の詳細について。

惣衛門サッカー場等の利用料金

(1)730円から2600円に料金を変更する理由と新料金の積算根拠は。

(2)利用団体に対する周知と理解は徹底されているか。

(3)過去の利用率の推移と、今後の見込み

財政4指標（埼玉県・戸田市）

総務省が平成21年度の地方自治体の財政指標を公表しました。財政健全化法に基づいて各自治体は健全化判断指数の4つの指標を公表しなければならないわけですが、この4つの指標はサッカーのイエローカードとレッドカードに相当するもので、早期健全化基準（イエロー）、財政再生基準（レッド）があります。数値に引っかかると、健全化計画を立てなければいけなくなったり借金が制限されたりします。つまり破たんの前に危険ラインを引いて、各自治体の財政運営を健全に促そうというわけです。

指標は4つです

① 実質赤字比率

資金のショート（赤字）の大きさを示す指標

② 連結実質赤字比率

実質赤字比率の範囲を全てに拡大した指標

③ 実質公債費比率

実質的な公債費が財政に及ぼす影響

④ 将来負担比率

借入金の残高などの負債から基金などの貯金を相殺した、将来にわたる純負債（ツケ）

実は戸田市は、①②ともに黒字。③が5.6%（イエローが25%、レッドが35%）④が43.2%

（イエローが350%、レッドは基準なし）ということなので、かなり健全性は高いといえます。

一方埼玉県は、①②ともに黒字ではあるものの、

③12.7%④246.2%でありました。

埼玉県はいずれも全国平均よりも良い数値ではあ

ります（③13.0%、④246.2%）が、経年比では20年度より悪化しています。

多治見市という行財政改革に熱心な自治体がありますが、これらの4指標を市独自の解釈で条例を作って、健全性の維持に努めています。特に戸田市のような都市部の自治体は、財政が比較的安定しているので、新たな基準と目標が必要になっているのではないかと考えます。

すがわらマニフェスト2009の進捗状況です。

※マニフェストに掲げた戦略目標、および具体的な政策に関して、すがわらが取り組んでいる政策です。

◇ 議案質疑で質問

◆ 一般質問で提言

□ 委員会で提言

■ 意見書、決議、条例など

21年 3月議会

◇児童育成手当条例（父子家庭への助成制度）◇乳幼児医療費支給に関する条例（子ども医療費助成制度）◇戸田公園駅前行政センター整備事業（維持管理費、業務内容等）◇荒川左岸南部流域下水道事業推進協議会の特別交付金（交付金の使途）◆事業仕分け導入を提言◆予算編成過程の公開を提言◆防災条例の制定を提言◆フィルム・コミッションの設立 □市内公園のバリアフリー化を100%にする要望 □市内中学校に柔道部創設を要望 □さくら川護岸工事の早期完了の要望 □校庭の芝生化に向けた提言 ■ストリートビューに対する法規制に関する意見書を作成し国に提出

21年 6月議会

◆競艇収益金の使途についての提言 ◆「ゆるキャラ」の活用 ◆産、学、官連による生涯学習拡大 ◆自治体コンプライアンス条例を提言 □委員会にて「いじめ防止」に取り組むことを提言

21年 9月議会

◇戸田市医療保健センター決算（ジェネリック医薬品の活用）◇戸田市文化会館管理運営について（太陽光パネル取り付け）◇地上デジタルテレビ放送対応テレビ購入について（地域活性化交付金）◆ひとり親家庭の就業と自立支援の推進 ◆市独自のナンバー（課税標識）を提言 □公園管理委託事業の一括委託化でコストカットを提言 □戸田ヶ原自然再生事業の見直しとムダ総点検の要望 □庁舎耐震化における工法の慎重なる検討の要望

21年12月議会

◇戸田市地球温暖化対策条例について（新たに課す義務について）◆市長のマニフェスト評価と検証について ◆公共施設のあり方について ◆救急医療体制の充実について提言（ドクターカー）◆事業仕分けについて再度提言 □学校給食センター建設における安全性と効率性の両立を提言 ■ずさんな入札に関する5つの議案の反対討論→否決に

22年3月議会

◇戸田市行政センター条例（子どもの一時預かり・窓口業務の委託料）◆財政年次報告書（アニュアル・レポート）の作成について提言 ◆動物愛護行政について ◆保健とコミュニティー再生の両立について（ラジオ体操の見直し） □戸田公園駅前行政センター連絡通路の転落防止柵設置 ◇特定健康診査・特定保健指導事業（自己負担の無料化） ■ネットいじめ根絶に関する決議 □中小企業振興条例（経済雇用など）を委員会テーマにと提言

22年6月議会

◆子ども手当について（不正受給、保育料、給食費滞納対策） ◆ポイ捨て等及び歩行喫煙をなくす条例について（副流煙対策、周知の徹底、ルールの厳格化） ◆県からの分権について（指定15事務） ◆事務事業の民営化「提案型公共サービス民営化」の導入 ◆市非常勤職員の給与にインセンティブ（多層型給与制度）を ◆埼京線3駅の安全性向上（ホームドアを設置要望） □市内施設の安全管理体制の構築を提言 □中小企業振興条例に係るアンケートとヒアリング実施提言 ■議会が市の10年計画に対して議決できる範囲を拡大

22年9月議会

◇不納欠損、収入未済額の圧縮について（税、税以外） ◆公文書管理条例について ◆庁議の資料の情報公開 ◆教育委員会資料の情報公開 ◆自動販売機（行政財産）の活用 □債権管理条例の制定